

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	生活環境課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	1. 二宮の自然、文化、住環境の魅力				
分野別方針	(6)循環型社会の推進		実施計画事業	1)ごみ処理広域化推進事業(No.39)				
予算等事業名	剪定枝資源化施設整備事業							
目的	平塚市及び大磯町とのごみ処理広域化を推進するため、他市町の広域施設に係る費用負担を行う。また、広域施設である剪定枝資源化施設の計画及び整備を行う。							
内容	ごみ処理広域化に伴い、広域化施設整備を行う。							
根拠法令・条例等	一般廃棄物処理に係る事務事業の広域化に関する基本協定 剪定枝資源化施設の整備運営に関する事務の事務委託に関する規約							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難			
理由								

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難			
理由								

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)						
	【説明】						

総合評価

実績	建設工事及び運営事業者の選定及び契約締結、建設用地の購入を行った。						
中間評価との相違点	—						
事業指標(数値指標)	事業進捗率						
前期(27年度)目標値	100%			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
単位:	事業進捗割合: 調査等計画20%、用地購入10%、事業者選定10%、建設工事60%						
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成25年度実績値: 平成24年度及び25年度において調査等計画、用地購入及び事業者選定が終了(20+10+10)			
	40%						

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		292,737	292,639				
財源内訳	一般財源	191,904	137,637				
	国庫支出金	20,130	94,202				
	県支出金	35,900	16,694				
	その他	44,803	44,106				

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 ごみ処理広域化の施設であり広域内の資源化促進のため、必要な事業である。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 一般廃棄物の処理は自治体が行う必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 平成27年度の施設稼働を目指し、計画通り進んでいる。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 施設整備と施設運営を一体とした発注方式により、経費削減に繋がっている。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 循環型社会形成推進交付金の活用や平塚市及び大磯町からの負担金を用いて、事業推進している。引き続き、施設稼働に向けて事業推進していく。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	平成27年10月稼働に向けて、周辺環境に配慮した施設整備、運営が行えるように詳細設計及び体制整備を行う。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	ごみ処理広域化を進める上で、必要な施設である。		
今後の方向性	平成27年度の施設稼働に向けて推進する。		